

1. 目的

南砺市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者に対する直接的な耐震化の啓発、耐震診断実施者に対する耐震化の促進、耐震改修事業者の情報提供、一般市民への周知・普及の充実を図ることが重要である。

このため、南砺市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「プログラム」）では、毎年度住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2. 位置付け

プログラムは富山県始め 15 市町村で作成する社会資本総合整備計画「富山県住まいまちづくり計画（第 4 期地域住宅計画）」に位置付ける。

3. 計画

＜令和 6 年度取組内容＞

【財政的支援】

富山県木造住宅耐震改修支援事業の対象となる住宅（以下「対象住宅」）の耐震改修に対する一部補助を実施。

【普及啓発等】

① 住宅所有者に対する直接的な耐震化の啓発

対象住宅の戸別訪問またはチラシのポスティングを実施。旧耐震の住宅が密集している地域を重点的に戸別訪問もしくはチラシを配布する。2030 年までに全対象住宅への取り組みを完了する。

②耐震診断実施者に対する耐震化の促進

耐震診断実施後一定期間経過しても耐震改修を行わない所有者に対して電話等による耐震改修促進を実施。

③耐震改修事業者の情報提供

南砺市内の耐震改修事業者を調査し、リストを公表。

④一般市民への周知・普及

福光地域住宅相談所や市広報、ホームページ、マスメディアを活用し、補助制度等の周知を実施。

イベントや市役所窓口等でチラシを配布し、リフォームにあわせた耐震改修を促進。

固定資産課税明細書に木造住宅の耐震診断・改修への支援について掲載したチラシを同封。

＜令和6年度目標＞

耐震診断実施戸数25戸 耐震改修補助戸数7戸

実績	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
診断	7	9	22	16	12	7	9	8	7	34
改修	2	1	2	2	1	0	2	0	0	4

4. 自己評価

【前年度取組実績】

- ・市広報に補助制度の説明を掲載した。
- ・庁舎窓口にリーフレットを設置した。
- ・耐震診断後、一定期間経過しても耐震改修を行わない所有書に対して電話等による耐震改修促進を実施した。
- ・南砺市総合防災訓練で耐震のパネル等で周知・普及した。
- ・固定資産課税明細に木造住宅耐震診断・改修への支援等について掲載されているチラシを同封し、制度の周知等に努めた。

【前年度の課題】

- ・今後も事業の推進に向け、引き続き補助制度の利用促進を図る必要がある。

【改善策】

- ・様々な手法を用いて耐震化の重要性や補助制度の積極的な周知に取り組む。